



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

👉 6/7 定期総会役員案決まらず、7/27 臨時総会開催へ

平成26年6月7日に戸山サンライズにて開催された26年度通常総会は、近年まれにみる波乱の会議となりました。

議事の内容、発言詳細などについてここで述べることはできませんが、決議などの事実関係を可能な範囲でお知らせします。

具体的には、3つの議案が討議されました。

第1号議案、平成25年度事業報告。第2号議案、平成25年度決算。これらの議案については、参加された加盟協会代表者もしくは、代理の方々の賛同を得て、承認されました。

第3号議案は、平成26・27年度理事会推薦理事候補者の選出でした。

今年度は全難聴理事改選の年です。新しい理事を決定して新年度をスタートさせるはずでしたが、この時提出された新しい理事メンバーに関する提案は、出席された正会員の方から否決されました。

その後、議長裁定での提案もなされましたが、こちらも否決されましたので、この時点で総会終了となりました。

第1、2号議案が承認されましたので、通常総会は成立しています。

全難聴定款第26条(役員の任期)「**理事の任期は・・・通常総会の終結の時までとする**」により、この時点で現在の理事は任期を終え、次の理事にバトンタッチをする決まりになっております。

しかしながら、次期理事メンバー案は総会において承認されませんでした。

全難聴定款第26条(役員の任期)の中で、「**定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。**」とあります。現在の理事は、引き続き活動を続けていますが、この活動は新たな理事・監事が就任し、新しい理事会をたちあげるまでの全難聴の組織を最低限維持することを目的としています。

振り出しに戻った総会議案は、再び理事立候補を募り、再度総会を開いて、次期理事メンバーを決める作業になります。

現在、各理事及び専門部長は、仮の立場での活動となり、対外的な対応も含めて非常に不安定で異常な状態になっています。

加盟協会の皆様にはご迷惑をおかけしないように努力しておりますが、緊急事態に対応しております関係で、様々な面でのご理解をお願い申し上げます。

精神科病棟転換型居住系施設に反対する6. 26緊急集会 in 日比谷

社会的入院という隔離された状況にある精神病患者がいます。

社会とは隔離された患者たちの状況については、内閣府で行なわれてきた

障害者政策委員会の場で多くの異論が出されました。当会から参加している新谷副理事長も、進められようとしている病床転換居住系施設について、繰り返し問題提起してきました。



STOP の文字が全員の手に

6月26日、日比谷野外音楽堂に精神科病棟転換型居住系施設に反対するメンバーが集まり、現在政府内で行なわれている議論に反対する意見を述べました。

梅雨の合間の快晴の中で行なわれた集会では、27人の当事者、支援者、関係者によるリレートークが行なわれ、それぞれ短い時間ながら、自らの状況を訴え、「退院して病院の敷地内に帰っていく」という不条理への反対の意志を表明しました。



意見表明する新谷副理事長

参加団体によるリレートークでは、新谷副理事長が全難聴としての声明文を読み上げました。その中で、我々自身の理解の欠如、起こりがちな偏見の助長についての警鐘を含めて、この議論の強行に対する厳しい意見を述べました。

参加人数は主催者発表で約3200人。霞ヶ関からも多くの議員が駆けつけ、支援の弁を述べました。

ちなみに、この集会での手話通訳、要約筆記の情報保障は、東京都の公費派遣で行なわれました。

最新情報保障アプリ「手書き電話 UD」

川井副理事長が推進する情報保障アプリの講習会が、副理事長地元の横浜市で行なわれました。

全難聴情報文化部の事業計画には、「文字表示する携帯可能な支援機器」開発への参加協力は大きな活動目標になっています。

今回は、プラスヴォイスによる「手書き電話 UD」のデモと紹介が行なわれました。



画面は、「iPad」と「アンドロイドスマートフォン」で表示された、「手書き電話UD」の画面です。

別の端末間で、全く同じ手書き文字が、ネットを通じて交換できます。

もちろん、手書き文字だけでなく、音声を認識させ、会話を文字表示させる機能も備えています。

講習会では、貸与された iPad を使って、文字のやりとりや、音声の文字変換などの実体験が行なわれ、大賑わいでした。

こういった新しい技術は、まず川井副理事長が率先して使いはじめると思います。



福祉大会 in 三重の見どころ

三重県は、豊かな自然、歴史文化、海山の幸に恵まれていることから、古くから「美し国」(うましくに)とされています。

福祉大会の講演、分科会については次号で詳しくご紹介しますが、秋の伊勢を旅するとなれば、「うましくに」が堪能できることは間違いありません。

また、伊勢神宮を始めとする観光コースでは、内宮、おかげ横丁など、遷宮の翌年ならではのスポットをご案内しますし、三重県協会が得意とする難聴者向け文字情報保障付き観光バスも稼働します。



福祉大会 in 三重の Twitter 公式アカウント開設!!
「[@fukushi2014mie](https://twitter.com/fukushi2014mie)」

↑ 理事の動き (6/1~6/30)

- 6月1日 山梨県要約筆記者養成講習会 (藤谷)
- 6月2日 JDF 代表者会議 (高岡)
- 6月4日 視聴覚障害者関連4団体勉強会 (高岡、新谷)
- 6月7日 全難聴総会・東京
- 6月8日 全難聴理事懇談会
- 6月15日 第62回全国ろうあ者大会臨席・長野県 (高岡)
- 6月17日 日本補聴器工業会意見交換会 (高岡)
- 6月18日 JDF 企画委員会 (佐野)
- 6月19日 一般社団法人日本補聴器販売店協会総会・記念講演・懇親会 (佐野)
- 6月19日 iPad 講習会 (川井)
- 6月19日 JDF 条約小委員会 (新谷)
- 6月21日 第32回全国要約筆記問題研究集会 in 石川 臨席挨拶・分科会・交流会 (新谷・佐野)
- 6月24日 補聴器と二種免許に関する勉強会・警察庁 (小川)
- 6月24日 スマートテレビ時代における字幕等の在り方に関する検討会・総務省 (高岡)
- 6月25日 JDF 幹事会 (新谷)
- 6月26日 JD 緊急集会・日比谷 (新谷)
- 6月26日 NPO 法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会・長崎 (宮本)

↑ 事務局報告

- 6月4日 視聴覚障害者関連4団体勉強会
 - 6月7日 全難聴総会・東京
 - 6月8日 全難聴理事懇談会
 - 6月18日 役員改選公示発送
 - 6月19日 iPad 講習会
 - 6月26日 JD 緊急集会・日比谷
 - 6月27日 役員改選立候補×切日
 - 6月30日 全難聴だより No. 73 発行
- 《予定》
- 7月5日 全難聴女性部総会・山口県
 - 7月7日 障害者放送協議会総会
 - 7月8日 JDF 企画委員会
10周年フォーラム会場下見等
 - 7月10日 JDF 郵便制度小委員会
 - 7月11日~13日 全国要約筆記指導者講習会
東会場
 - 7月19日~21日 全国要約筆記指導者講習会
西会場
 - 7月20日 音声認識評価・名古屋
 - 7月26日 要約筆記者現任研修会・高知県
 - 7月27日 全難聴臨時総会・東京都
 - 7月31日 全難聴だより No. 74 発行予定

選挙のバリアフリーに向けた意見書提出

京都府難聴者協会は、公職選挙のバリアフリー実現に向けての意見書を長岡京市議会に提出しました。

6月の定例会において、全日ろう連が各地で進めている手話言語法などとともに採択されました。

意見書の中で、特に高齢者の難聴者への文字表記の配慮を求めました。

具体的には、

- ①政見放送への字幕付与。
- ②演説会での要約筆記配備です。

特に通訳者への謝金が選挙運動とされていることについて、文字による情報を必要としている難聴者への支援策として誤りであると意見書の中で述べています。

採択された意見書案は、国に提出されます。
(京都府協会山口武彦事務局長より報告)